XバンドMPレーダー

運転支援

浸水危険 情報

ポンプ運転

支援情報

注目される B-DASH プロジェクト採択技術

要を紹介する。

るものとして注目され

握するため、

対策施設運用支援システ

役の山本克代氏を 大工園設備工業化

ICTを活用

ム実用化に関する技術

および浸水発生の状況

内水位·施設運転、

降

5月28日

たほか、

役員改選では、

表取締

を手掛けるマルチ水平ウ 化装置「VSAP」など

学校友会館で開き、今年 東京都千代田区の東海大

VOC類地下水汚染浄

大阪市の大阪キャッスルエル研究会は先月23日、

後に開かれた懇親会の冒 なった佐藤敏明氏は総会 た。今年度から新会長と 度事業計画などを承認し

P - G工法、

、3Sセグメ

新理事に選任した。 草弘土壌営業統括部長を

土壌環境調査等事業は

リーマンショック

ント工法、グロー工法の

8回通常総会を開き、S

田建設常務試行役員の植

の今酒誠環境本部長、戸 部長、大成建設執行役員 行役員の新川隆夫環境本

CP工法、SGIC

東京プリンスホテルで第 先月30日、東京都港区の 訂

を活用した浸水対策

システムの実用化に関す

た浸水対策施設運用支援

果等を実証する。

提案技術の革新性等の

部全体会を開催し 部全本会を開催し、今丰ランドホテルで第6回支

**関事業計画などを了承し** 

的技術実証事業(B

今年度の下水道革新

ムに浸水を予測

国土交通省

ASHプロジェクト)

な情報を提供する技術で ポンプの運転制御に有効

鎌田修会長

協会関西支部は:

承認した。

神戸市北区の

夫氏を支部長に選任

の早期導入目指す

29日、第12回定時総会を

CP技術協会は

光硬化工法協会は先月

人手不足解消も課題

員改選では、

鹿島建設執

表彰した。

中村健太郎会長は、

ツ

項を承認した。また、役

フッ素汚染水浄化装置

山隆リコム会長の伊藤敏

日本下水道管路管理業

新支部長に山本氏

新潟市、

浸水被害の削減効

る実証事業を選定。

浸水

豪雨情報

の収集

浸水危険

性の予測・

判断(高速

光波長測定・

装置

計・日本ヒュ 協会・日本上下

実績に誤り

がありま

どを踏まえ、維持

きせて管理業

グランドプリンスホテル 先月23日、東京都港区の 日本・ダンビー協会は

でいる。昨年は、①塩ビ年新しい技術を取り込ん「光硬化工法協会は、毎頭であいさつに立ち、

で人手不足に陥っているどへの追い風が吹く一方

山田良介会長

器の性能を生かし、

「会員の高い技術力と機野への展開を強調し、

秀薫会長は、<br />
更生工事な<br />
総会後の<br />
懇親会で小島

画を承認した。

ミクスにより建設業が全

と協会活動を振り返った

を確立したエコプローブ 調査用機器としての地位

事業報告や今年度事業計

受けたことを含む昨年度

審査証明報告書の更新を 4工法が3月に建設技術

田良介会長は、「アベノが、総会後の懇親会で山が、総会後の懇親会で山

アルの策定など土壌環境

ルス開発や技術マニュ

給与水準等も考えていか点を強調。「社会保険や

新高輪で第9回定例総会

ことな

長あいさつにおける施工5周年」記事中、小川会

で昨年度、

設維持管理の包括 委託が実施された

的 民間 管路施

毎年15~20%の伸び

「日本SP

R工法協会2

山本新支部長は

堺市

EX・ダンビー協会

む今年度事業計画などを認、実用機仕様検討を含

佐藤敏明会長

化装置試作機の性能確 を開き、フッ素汚染水浄 ホテルで第9期定時総会

水道設

**実証事業**」

を実現する③上記伝達情

水対策施設運用支援シス

「ICTを活用し

各種情報を下水道光ファ 給電カメラを設置する②

ーによりリアルタ

術の革新性等の特徴に誤

山本克代支部長

各県部会でも独自に

対応訓練を実施するなど

択技術)の記事中、提案技証事業」(2014年度採

ム実用化に関する技術

ムに一体的に結び付け

CTによる見える化」

は上記記事の通りです

同日付

12

ータ 処理

## 下 ·水道展 14 大阪 テ 大 で 来月 22

日

開

幕

スラッジセンター、海老を予定。24日には、舞洲

水処理場を巡るBコー

行われる。 会などのほか、 大阪市住之江区のインテックス大阪で開催せれる。 日本発・暮らしを支える底力 小間の出展が予定されており、 大阪市を中心に再生可能エネルギー導入などで注目される下水処理場などを巡るツア 併催企画では下水協設立50周年や大阪市近代下水道事業120周年を記念した講演 - 。日本下水道協会主催の下水道展14大阪が来月22日から4日間: 水処理や汚泥処理、 主催者によると先月23日現在、292社・団体 維持管理に関する最新技術などの展示が

## 9 2 社· 水協50周年特別 団体、 講演会など併催企画も充実 間出展

験・分析機器などを展示と、(同)、排水設備や試展示する管路資器材ゾー 来場者向けに展示するパ するその他ゾー した地方公共団体が一 大阪市をはじめと 究をサポー く盛り込んでいる。 者も楽しめる企画を数多 予定されるなど一般来場 立50周年特別講演会」 併催企画も充実してお 「日本下水道協会設 する企画も

維持管理機器や特殊車両 など展示する維持管理ゾ

ン(4号館、5号館)、

新技術などの展示では**、** 下水道事業を支える最

態

管路資器材などを

**小処理や汚泥処理装置な** 

パブリックコー 児童の夏休み自由研 インテックス大阪 木啓祐教授が を目指して」をテー ビジョン (仮)」 新下 をテ

強くしなやかな国、日本 教授が「列島強靭化論~ 京都大学大学院の藤井聡 センタービルで開かれ に、東京大学大学院の花 平野下水処理場、

Ħ

ルーズを行うAコース、 クニカルツアー」 24日の両日予定され 企画では、 が 23

る。 で開かれ、気象庁大阪管防災講演会も22日、同所 の激しい気象を踏まえた となっているほか、 ッションなどを行う予定 道の将来像などをテーマ 阪5号館で開かれ、 凶気象台気象予報官が 災害から身を守るため インテックス大 近年

中海下 と発表した。67歳。北 は近親者のみで行. 州市出身。葬儀・告別

社長の任務は当面、 男会長兼社長が死去した お別れの会を開く。

| 代下水道事業着手120 灘処理場、白鶴酒造資料を巡るCコース、神戸市 を巡るCコース、神戸東 江処理場、下水道科学館 館を巡るDコースを予定

クボタは4日、 益本康

故•益本康男氏

|(62)が代行し、後日間||昌俊副社長執行役員 を決める。 益本社長は

社長を経て99年 入社。取締役、専務、

育務 に 社副に

連合会会長や日本下水道長に就任した。環境関連 施設業協会副会長などを く取締役会で後任の社長

対し、改正後のは8年度30%、 べき点は、 合となった事例 り、増加傾向にある。特筆す 数は対象面積要件の強化によ 年度)によれば、 然由来重金属を 11年度88%と約 後の法対象土壌汚染調査事例 環境省の報告 そ のうち基準不適 劉合が旧法で 暑 (20 09年度31%に

トランス・サイエンスと土地環境問題

暮らしている。この原則を見

私たちは自然豊かな国土に

踏まえたマネジ たことが大き えたことである。原因は、自 法制度が生活リスク実態を かせとなっていめに、土地取引ジメントを考慮 規制対象とし 2倍程度に増 10年度53%、

施策は、

長期的には破綻す

いた科学の結論を基に行った

人間生活を考慮せずに導

区のロイヤルパークホテは先月29日、東京都中央

日本下水道施設業協会

論に誤りが生じる場合があ 者は社会生活を無視すると結 失ってはならない。自然科学

る。

展者プレゼンテーション 展者プレゼンテーション 展者プレゼンテーション

## 明海大学 不動産学部 准教授

## 本間

無数にある」と述べ、魅革新に取り込むテーマは

が占めている。日本はま 市場の85%を光硬化工法 市場は、かなり成熟したおよび地下水汚染対策の

行われた。ドイツでは、開発、など大きく3点が強度が従来比2倍の材料

小島秀薫会長

「国民の生活の役に立つ

よう会員企業が力を発揮

していきたい」と話した。

る事業量の増加を予想。と述べ、経済の好転によ

倉田淳会長は、「土壌

の認定工場制度に適用③

とはいえ研究課題や技術

# る場合が多い。実態として、

健康リスクの無い状況にもか

とが重要とし、開発部会 力ある技術開発を行うこ

だ、当協会でしか使っていない。いずれ他の物が出てくるかもしれない。 いずれ他の物がおのレベルで仕事をしていたい」と述べた。

けた意欲を示した。 る」と担い手の確保に向

仁井専務が会長兼務

日本水道工業団体連合

東京都千代田

日本管路更生工法品

会の役割だと思っていい。これを考えるのも協

合会

日本水道工業団体連

### かわらず、無用な紛争や対策 よく耳にする。このような実 上事を引き起こす取引事例も 国益にとっても不利で 現場の専門家の嘆きも の成果として昨年完成し えを強調した。 置の早期導入を目指す考 たフッ素汚染水の浄化装

土対法改正

### 会 松木会長再任

日本インシチュフォ

質確保協会

ム協会

### ム協会は先月29日、東京日本インシチュフォー 新商品市場投入へ

### 確保協会は2日、東京都 業認定へさらに注力 日本管路更生工法品質

業計画・予算などを承認

4日の益本康男会

常総会を開催、

一个年度事

区の東京会館で第48回通

計画などを了承した。 どを柱とした今年度事業 認定や資格制度の創設な 回定時総会を開き、業種港区の明治記念館で第6

ることが決まった。

専務理事が会長を兼務す

長(クボタ会長兼社長)

の急逝を受け、仁井正夫

プリンスホ

の上で、故人の遺志を継 思い出を振り返った。 悼むとともに、 し、益本前会長の急死を ぎ、日本の上下 1.井新会長があいさつ 総会後の懇親会では、

事が増えつつある中、正博会長は、管路更生工

総会後の懇親会で前田

、故人との そ

# える諸問題に対処してい

### 合ソ はこの ・ター、 国際航業等と提携 ュ 水道事業での質の高い ーショ

管路の計画、設計、 処理設備にとどまらず、 け事業が加わり、

を図ることができる。

フサイクルコスト

-の低減

総会フラ

ツシュ

が進出して来て、我々地 た流れの中、大きな団体

などを承認したほか、役 を開き、今年度事業計画

国会で成立した改正品確 総会後の懇親会で同日に

について触れ、「昨年11法である同工法の耐久性

前田正博会長

員改選では野口豊治氏を

視点が重要なのである。(終)「トランス・サイエンス」の

を承認した。

再任された松木会長は

実績を持つ唯一の更生工は、国内で25年超の供用

では松木晴雄会長の再任

業計画などを承認した。

懇親会で今井英貴会長

「更生工事の本格化はこ

査の追加実施、今年度事 技術検討や更生管追跡調 品市場投入に向けた施工

**皮事業を報告、** 

役員改選

果ガス排出削減対策のパ き、下水処理場の温室効 ルで第38回通常総会を開

> 開き、高強度材料の新商 テルで第28回定例総会を

ンフレット作成など昨年

すなわち不動産学が目指す

科学と社会を考えること、

元企業が下請けグループ

になるのではないか」と

新会長に選任した。

管理の効率化やライ

設備維

水処理施設維持・管理、

会ハ

イセラミック管協

ミック管は最長の

懸念を示し、「関西支部

-水道管材。

東日本 寿命を

をとり、頑張っていく」は今後も本部と密に連絡

を迎え、

・順調に推移して

新会長は合併設立後9年

松木晴雄会長

今井英貴会長

特に協会設立時の柱としれから」とし、「今年は

とし、「今年は

総会後の懇親会で野口

と決意を表明した。

鎌田会長は

WBCによる

メタウォ

一路の総

暮らしを支える底力テー

器材など建設ゾーン

など業種別に分けて

-ン (3号館)、

技術資

る計画から設計、 水処理場向け 業務提携で、 理施設向け事業ではメタ ションを提供する。 浄水場、 することとなった。 をメタウォー たソリューションを提供 針

∃

鎌田会長を再選

ハイセラミック管協会

再構築資材としても最適 影響を受ける下水道管の 大震災被災地での海水の

であり、

また管材の特徴

業協会中部支部 日本下水道管路管理

野口豊治会長

等を踏まえ、「協会は施ている新下水道ビジョン

月に名古屋市の協力で追

活動を積極的に進めた 資格制度の実現に向けた て掲げてきた業種認定と

い」と述べ、管路更生工

法や国土交通省が審議し

を生かした工場および温

下水道展は、専門の関係者だけでなく多くの 人が楽しめる内容(写真は下水道展13東京)

> 国際航業の管路向け事業 業と業務提携を締結し、

メタウォータ

水道機工、

なく管路の計画、設計、 維持管理など管路の総合

集した大量のデータを分 ウドシステム や熟練技術者のノウハウ 応に至るさまざまな情報 常の点検から非常時の対 ビジネスクラウド 水処理設備に関する日 に蓄積 「ウォ 持・管理の効率化、最 持・管理、 水処理設備・管路の安全 業 の G ンとの融合を通じ、上下 のGISによる管路維リューションと国際航 ソリューシ

度事業計画を了承したほ 広報活動などを含む今 役員改選では鎌田修

雨入りが発表され、

関東地方でも5日に

事業概要…浸水被害軽

管路内の

に備える時期に入った。

位情報やレー

雨量情

凡例

①既設合流幹線

小型光水位計

携を実現するもので、上分野での包括的な3社連

で同社が手がける管路向

国際航業との業務提携

W B C

本大震災被災地への

プラザ名古屋で今年度定 村区のホテルサンル は先月15日、名古屋市

が可能となった。

水環境

的なソリューション提供

例も積み重ねる考 をさらに図ってい 泉排水用途での採 業協会関西支部 日本下水道管路 管理 えを示 新支部長に伊藤氏 日本下水道管路管理業

協会中部支部は先月15 第21回全体会を開き、 ルクラウンパレス浜松で を含む今年度事業計画を 回程度実施することなど 害時対応訓練を長野市や 静岡県浜松市のホテ 石川県などで6 役員改選では 地方自治体からもこれか年15~20%伸びている。 ますます伸びるようフォ ら伸びる工法と評価して い」と抱負を述べた。 頂けていると思うので、 究会マルチ水平ウェル研 の風に乗っていきた

を注ぐことを強調した。事業環境の課題解消へ力

い」と述べ、入札方式など

を認識しなければいけな<br />
割が期待されていること

理、運営など経営にも役

中、長期の性能が確認工生対策が重要課題となる

土壌環境センター

法として、引き続き役立

目治体における施設の管 きたが、これからは地方 設を作る立場で活動して

べ、老朽管路の更新・更ことを確認した」と述

意欲を示した。

性、長期性に問題がない 跡調査をした結果、耐久

事の品質が高いレベルで

維持できる制度の創設へ

# 光硬化工法協会

10年先の仕事を

果は、7月の下水道研究 を示した。なお、この成 でるよう努めていく考え 発表会で報告する予定。 3S-CP技術協会

度賃借対照表など決議事 理事改選で3名選任 た。また、 年を記念し、 会を開き、

高橋渉氏を功労者として

### 度定時総会を開き、昨年市センターホテルで今年 土壌環境センターは5 東京都千代田区の都

会を牽引してきた元会長 の遠藤計氏、元副会長の 化の方針などを承認し 路会議室で第10回定時総 東京都港区の東亜道 、協会設立10 一般社団法· 設立後、

エコプローブ協会は6

般社団法人化方針

エコプローブ協会

一層の協力を求めた。

くとし、関係各位により